

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 発育状態

#### (1)身長・体重の平均値

前年度の同年齢との比較をみると、

##### ①身長

男子は、7、9～11、14、16、17歳で高くなり、他の年齢では低かった。  
女子は、6～12、14歳で高くなり、17歳では同値、他の年齢では低かった。  
また、9～11歳では、女子が男子を上回っている。(表1、図1)

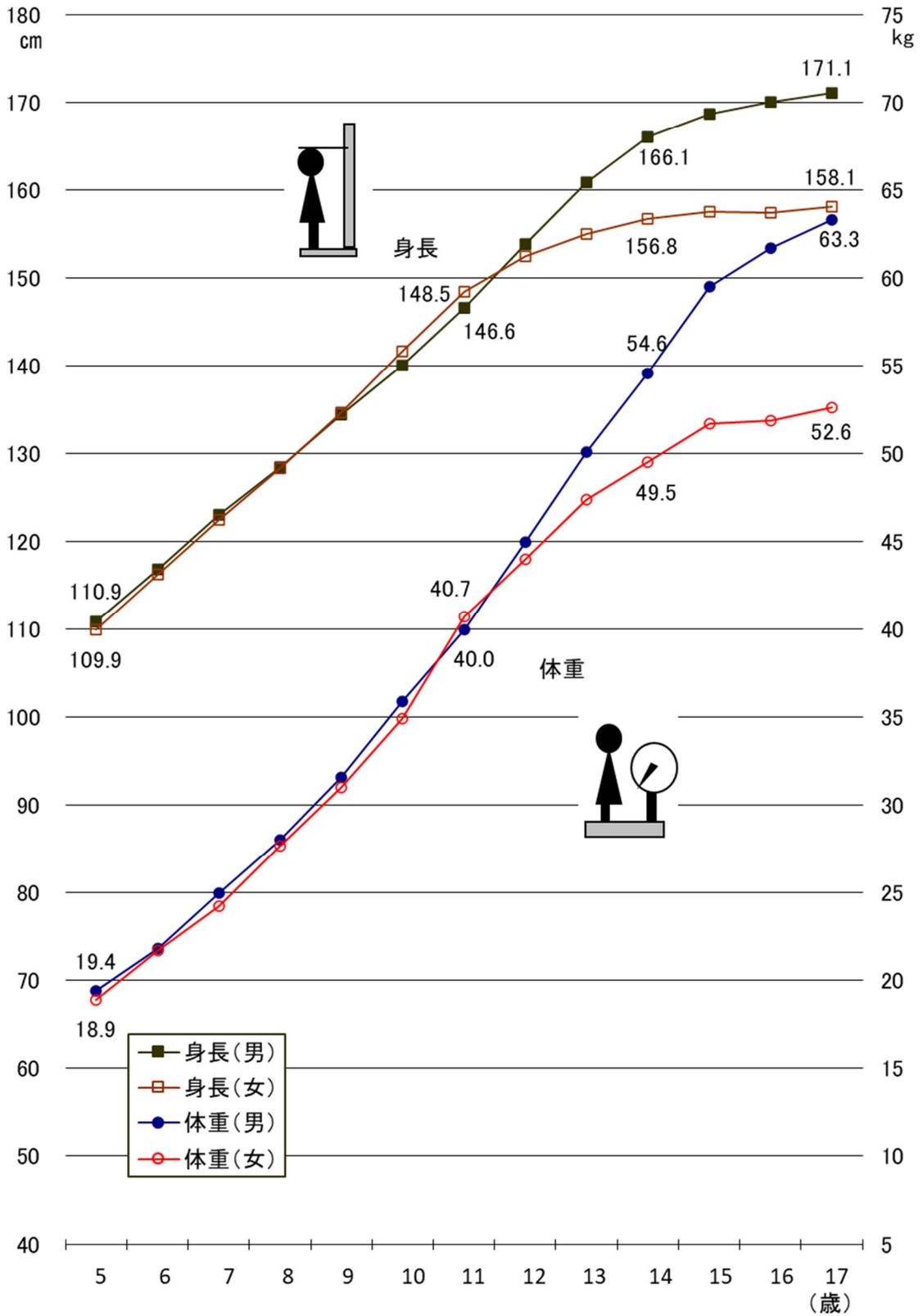
##### ②体重

男子は、5、7～11、15～17歳で増加し、他の年齢では減少した。  
女子は、6～8、11、17歳で増加し、9歳では同値、他の年齢では減少した。  
また、11歳では、女子が男子を上回っている。(表1、図1)

**表1 身長・体重の千葉県平均値**

区分			身長(cm)			体重(kg)		
			令和 4年度①	令和 3年度②	差 ①-②	令和 4年度③	令和 3年度④	差 ③-④
男	幼稚園	5歳	110.9	111.1	△ 0.2	19.4	19.3	0.1
		小学校	6	116.9	117.0	△ 0.1	21.8	21.9
	7		123.1	122.9	0.2	25.0	24.5	0.5
	8		128.5	128.8	△ 0.3	28.0	27.9	0.1
	9		134.4	134.3	0.1	31.6	31.4	0.2
	10		140.1	140.0	0.1	35.9	35.8	0.1
	11		146.6	146.2	0.4	40.0	39.7	0.3
	中学校	12	153.9	154.2	△ 0.3	45.0	45.8	△ 0.8
		13	160.9	161.1	△ 0.2	50.1	50.7	△ 0.6
		14	166.1	165.8	0.3	54.6	54.9	△ 0.3
	高等学校	15	168.7	169.0	△ 0.3	59.5	59.1	0.4
		16	170.1	170.0	0.1	61.7	60.0	1.7
		17	171.1	170.8	0.3	63.3	61.6	1.7
	女	幼稚園	5歳	109.9	110.3	△ 0.4	18.9	19.1
小学校			6	116.3	115.7	0.6	21.7	21.1
		7	122.5	122.1	0.4	24.2	24.1	0.1
		8	128.4	128.1	0.3	27.7	27.0	0.7
		9	134.7	134.2	0.5	31.0	31.0	0.0
		10	141.7	141.6	0.1	34.9	36.0	△ 1.1
		11	148.5	147.9	0.6	40.7	40.4	0.3
中学校		12	152.5	152.4	0.1	44.0	44.3	△ 0.3
		13	155.0	155.5	△ 0.5	47.4	47.9	△ 0.5
		14	156.8	156.7	0.1	49.5	50.0	△ 0.5
高等学校		15	157.6	158.2	△ 0.6	51.7	52.0	△ 0.3
		16	157.4	158.1	△ 0.7	51.9	52.9	△ 1.0
		17	158.1	158.1	0.0	52.6	52.4	0.2

図1 身長・体重の性別比較(令和4年度千葉県)



(注) 幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の最終学年の年齢についてのみ数値を記載した。

## (2)全国平均値との比較

千葉県平均値と全国平均値の比較をみると、

### ①身長

男子は、7、9～11、14～17歳で上回り、8、13歳では同値、他の年齢では下回っている。

女子は、6～15、17歳で上回り、他の年齢では下回っている。(表2)

### ②体重

男子は、5、7、9、10、15～17歳で上回り、6、8、11歳では同値、他の年齢では下回っている。

女子は、6～8、11、15、17歳で上回り、他の年齢では下回っている。(表2)

**表2 身長・体重の全国平均値との比較**

区分		身長(cm)			体重(kg)			
		千葉県①	全国②	差①-②	千葉県③	全国④	差③-④	
男	幼稚園	5歳	110.9	111.1	△ 0.2	19.4	19.3	0.1
		小学校	6	116.9	117.0	△ 0.1	21.8	21.8
	7		123.1	122.9	0.2	25.0	24.6	0.4
	8		128.5	128.5	0.0	28.0	28.0	0.0
	9		134.4	133.9	0.5	31.6	31.5	0.1
	10		140.1	139.7	0.4	35.9	35.7	0.2
	11		146.6	146.1	0.5	40.0	40.0	0.0
	中学校	12	153.9	154.0	△ 0.1	45.0	45.7	△ 0.7
		13	160.9	160.9	0.0	50.1	50.6	△ 0.5
		14	166.1	165.8	0.3	54.6	55.0	△ 0.4
	高等学校	15	168.7	168.6	0.1	59.5	59.1	0.4
		16	170.1	169.9	0.2	61.7	60.7	1.0
		17	171.1	170.7	0.4	63.3	62.5	0.8
	女	幼稚園	5歳	109.9	110.2	△ 0.3	18.9	19.0
小学校			6	116.3	116.0	0.3	21.7	21.3
		7	122.5	122.0	0.5	24.2	24.0	0.2
		8	128.4	128.1	0.3	27.7	27.3	0.4
		9	134.7	134.5	0.2	31.0	31.1	△ 0.1
		10	141.7	141.4	0.3	34.9	35.5	△ 0.6
		11	148.5	147.9	0.6	40.7	40.5	0.2
中学校		12	152.5	152.2	0.3	44.0	44.5	△ 0.5
		13	155.0	154.9	0.1	47.4	47.7	△ 0.3
		14	156.8	156.5	0.3	49.5	49.9	△ 0.4
高等学校		15	157.6	157.2	0.4	51.7	51.2	0.5
		16	157.4	157.7	△ 0.3	51.9	52.1	△ 0.2
		17	158.1	158.0	0.1	52.6	52.5	0.1

(3)親の世代（30年前：平成4年度）との比較

親の世代との比較をみると、

①身長

男子は、7～15歳で上回り、17歳では同値、他の年齢では下回った。

また、11歳で最も差が大きかった。

女子は、7～12、15歳で上回り、17歳では同値、他の年齢では下回った。

また、10歳で最も差が大きかった。（表3）

②体重

男子は、7～13歳で上回り、他の年齢では下回った。

また、10歳で最も差が大きかった。

女子は、7、8、11歳で上回り、6、9、17歳で同値、他の年齢では下回った。

また、16歳で最も差が大きかった。（表3）

**表3 身長・体重の30年前との比較（千葉県）**

区分			身長(cm)			体重(kg)		
			令和 4年度①	平成 4年度②	差 ①－②	令和 4年度③	平成 4年度④	差 ③－④
男	幼稚園	5歳	110.9	111.4	△ 0.5	19.4	19.6	△ 0.2
		小学校	6	116.9	117.3	△ 0.4	21.8	22.1
	7		123.1	123.0	0.1	25.0	24.5	0.5
	8		128.5	128.3	0.2	28.0	27.5	0.5
	9		134.4	133.6	0.8	31.6	31.2	0.4
	10		140.1	139.1	1.0	35.9	34.3	1.6
	11		146.6	144.6	2.0	40.0	38.6	1.4
	中学校	12	153.9	152.0	1.9	45.0	44.2	0.8
		13	160.9	159.3	1.6	50.1	49.6	0.5
		14	166.1	165.3	0.8	54.6	55.0	△ 0.4
	高等学校	15	168.7	168.6	0.1	59.5	60.1	△ 0.6
		16	170.1	170.2	△ 0.1	61.7	62.2	△ 0.5
		17	171.1	171.1	0.0	63.3	63.4	△ 0.1
	女	幼稚園	5歳	109.9	110.2	△ 0.3	18.9	19.1
小学校			6	116.3	116.6	△ 0.3	21.7	21.7
		7	122.5	122.2	0.3	24.2	23.9	0.3
		8	128.4	128.1	0.3	27.7	27.0	0.7
		9	134.7	133.8	0.9	31.0	31.0	0.0
		10	141.7	140.2	1.5	34.9	35.1	△ 0.2
		11	148.5	147.1	1.4	40.7	39.9	0.8
中学校		12	152.5	151.9	0.6	44.0	44.8	△ 0.8
		13	155.0	155.1	△ 0.1	47.4	47.9	△ 0.5
		14	156.8	157.0	△ 0.2	49.5	51.0	△ 1.5
高等学校		15	157.6	157.4	0.2	51.7	52.7	△ 1.0
		16	157.4	158.2	△ 0.8	51.9	53.7	△ 1.8
		17	158.1	158.1	0.0	52.6	52.6	0.0

(4)年間発育量（17歳：平成16年度生まれ）

①身長

男子では、11歳時で7.9cm、女子では、9歳時で6.8cmと最大の発育量を示している。

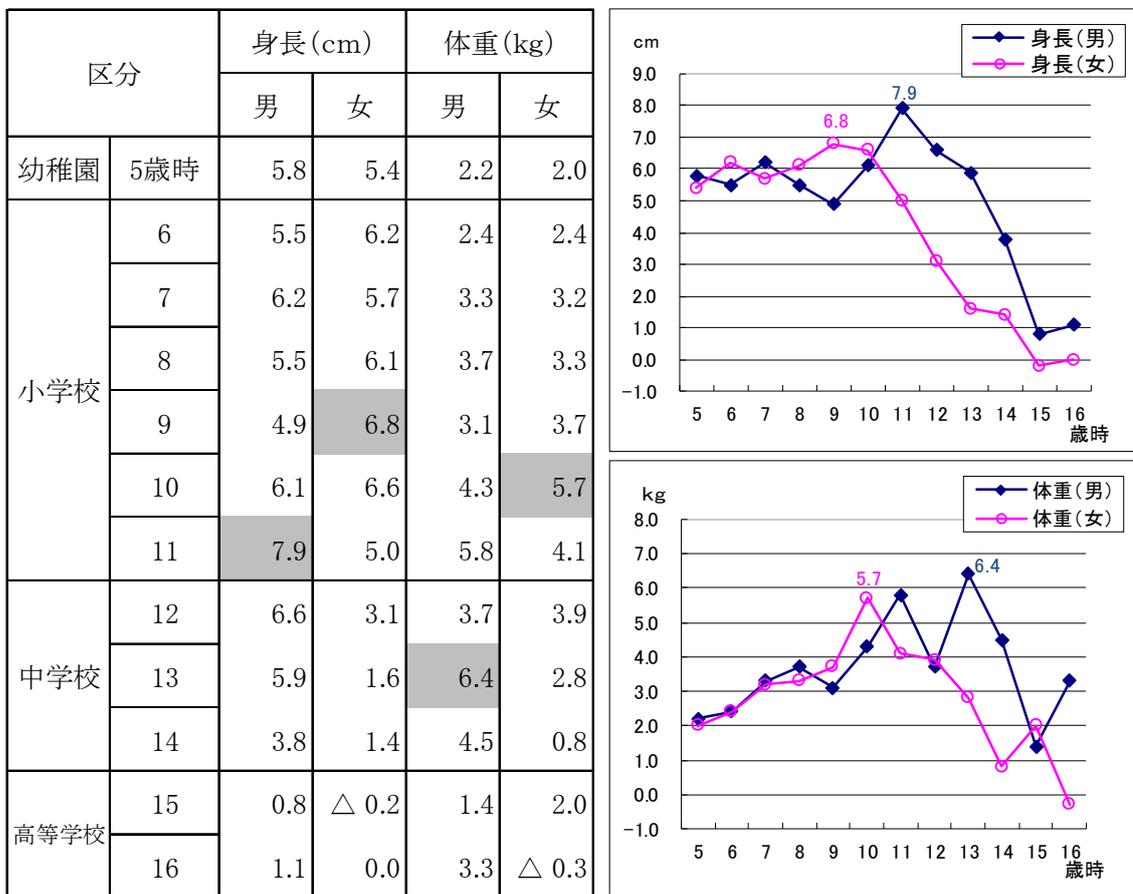
また、最大発育量を示す年齢は、女子は男子に比べ2歳早くなっている。（表4）

②体重

男子では、13歳時で6.4kg、女子では、10歳時で5.7kgと最大の発育量を示している。

また、最大発育量を示す年齢は、女子は男子に比べ3歳早くなっている。（表4）

表4 17歳（平成16年度生まれ）の発育量（千葉県）



(注)1 年間発育量とは、例えば、17歳(平成16年度生まれ)の「5歳時」の年間発育量は、平成23年度調査6歳の者の身長から平成22年度調査5歳の者の身長を引いた数値である。  
 2 網掛け部分は、最大の年間発育量を示す。

## 2 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率の状況

幼稚園及び高等学校では「むし歯（う歯）」の比率が最も高く、小学校及び中学校では「裸眼視力1.0未満の者」の比率が最も高くなっている。

また、全ての学校種別で「歯列・咬合」の比率が高くなっている。（表5）

表5 疾病・異常の被患率の状況（千葉県）

区分(%)	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
70以上～90未満			裸眼視力1.0未満の者 65.4		
60～70					
50～60					
40～50					
30～40		裸眼視力1.0未満の者 37.5 むし歯(う歯) 32.1		むし歯(う歯) 31.5	
20～30			むし歯(う歯) 23.7		
10～20	むし歯(う歯) 19.3	鼻・副鼻腔疾患 14.5	鼻・副鼻腔疾患 19.8		
1～10	8～10				
	6～8		歯・口腔のその他の疾病・異常 6.5 歯列・咬合 6.2	歯列・咬合 6.0	
	4～6		眼の疾病・異常 5.7 耳疾患 5.7 ぜん息 4.7	耳疾患 5.5 歯・口腔のその他の疾病・異常 4.4 その他の疾病・異常 4.3 眼の疾病・異常 4.2 アトピー性皮膚炎 4.1	歯列・咬合 5.2 鼻・副鼻腔疾患 4.7
	2～4	耳疾患 2.9 歯列・咬合 2.9 鼻・副鼻腔疾患 2.6 歯・口腔のその他の疾病・異常 2.5	その他の疾病・異常 3.9 アトピー性皮膚炎 3.7 歯垢の状態 3.1 歯肉の状態 2.1	歯垢の状態 3.7 ぜん息 3.7 歯肉の状態 2.8 せき柱・胸部・四肢の状態 2.3	その他の疾病・異常 3.9 歯垢の状態 3.5 歯肉の状態 3.3 蛋白検出の者 2.9 ぜん息 2.7 眼の疾病・異常 2.5 心電図異常 2.3 アトピー性皮膚炎 2.2
	1～2	ぜん息 1.9 アトピー性皮膚炎 1.1	心電図異常 1.2 栄養状態 1.1	蛋白検出の者 1.5 心電図異常 1.4	せき柱・胸部・四肢の状態 1.5 歯・口腔のその他の疾病・異常 1.4 耳疾患 1.1
0.1～1	0.5～1	眼の疾病・異常 0.9 蛋白検出の者 0.6 栄養状態 0.5 せき柱・胸部・四肢の状態 0.5	言語障害 0.9 口腔咽喉頭疾患・異常 0.6 せき柱・胸部・四肢の状態 0.6 心臓の疾病・異常 0.6 蛋白検出の者 0.6	口腔咽喉頭疾患・異常 0.7 心臓の疾病・異常 0.7 腎臓疾患 0.5	心臓の疾病・異常 0.6
	0.1～0.5	その他の皮膚疾患 0.3 心臓の疾病・異常 0.3 歯垢の状態 0.2 その他の疾病・異常 0.1	難聴 0.4 腎臓疾患 0.3 その他の皮膚疾患 0.2 結核の精密検査の対象者 0.2 顎関節 0.1 尿糖検出の者 0.1	難聴 0.3 顎関節 0.3 栄養状態 0.3 その他の皮膚疾患 0.2 尿糖検出の者 0.2 結核の精密検査の対象者 0.1	難聴 0.3 顎関節 0.3 尿糖検出の者 0.3 腎臓疾患 0.3 栄養状態 0.2 その他の皮膚疾患 0.1 言語障害 0.1
0.1未満		言語障害 0.0	言語障害 0.0	口腔咽喉頭疾患・異常 0.0 結核 0.0	

(注) 1 疾病・異常被患率の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下のときは、統計数値を公表しない。

2 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽喉炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。

3 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者である。

4 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。

5 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。

6 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出(陽性(+)以上)又は擬陽性(±)と判定された者である。

7 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出(陽性(+)以上)と判定された者である。

(2)主な疾病・異常の被患率の推移及び全国値との比較

疾病・異常の被患率のうち主なものについて、全国値との比較をみると、

- ・「むし歯（う歯）」は、全ての学校種別で下回った。
- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」は、中学校で上回った。
- ・「鼻・副鼻腔疾患」は、小学校及び中学校で上回った。
- ・「ぜん息」は、全ての学校種別で上回った。
- ・「心電図異常」は、小学校、中学校及び高等学校で下回った。
- ・「蛋白検出の者」は、幼稚園、小学校、及び中学校で下回った。（表6）

表6 主な疾病・異常の被患率の全国値との比較

(単位:%)

区分		むし歯(う歯)			裸眼視力1.0未満の者			鼻・副鼻腔疾患		
		千葉県①	全国②	差①-②	千葉県③	全国④	差③-④	千葉県⑤	全国⑥	差⑤-⑥
幼稚園	平成30年	33.4	35.1	△ 1.7	X	26.7	…	3.1	2.9	0.2
	令和元年	23.9	31.2	△ 7.3	X	26.1	…	4.0	3.2	0.8
	2年	28.3	30.3	△ 2.0	X	27.9	…	0.5	2.4	△ 1.9
	3年	20.1	26.5	△ 6.4	X	24.8	…	6.3	3.0	3.3
	4年	<b>19.3</b>	<b>24.9</b>	<b>△ 5.6</b>	<b>X</b>	<b>25.0</b>	…	<b>2.6</b>	<b>3.0</b>	<b>△ 0.4</b>
小学校	平成30年	39.3	45.3	△ 6.0	33.9	34.1	△ 0.2	12.7	13.0	△ 0.3
	令和元年	38.8	44.8	△ 6.0	33.3	34.6	△ 1.3	9.9	11.8	△ 1.9
	2年	33.8	40.2	△ 6.4	36.1	37.5	△ 1.4	15.7	11.0	4.7
	3年	34.2	39.0	△ 4.8	35.4	36.9	△ 1.5	14.5	11.9	2.6
	4年	<b>32.1</b>	<b>37.0</b>	<b>△ 4.9</b>	<b>37.5</b>	<b>37.9</b>	<b>△ 0.4</b>	<b>14.5</b>	<b>11.4</b>	<b>3.1</b>
中学校	平成30年	30.1	35.4	△ 5.3	51.6	56.0	△ 4.4	9.9	11.0	△ 1.1
	令和元年	31.8	34.0	△ 2.2	57.6	57.5	0.1	18.1	12.1	6.0
	2年	26.9	32.2	△ 5.3	51.4	58.3	△ 6.9	16.5	10.2	6.3
	3年	25.2	30.4	△ 5.2	56.6	60.7	△ 4.1	10.4	10.1	0.3
	4年	<b>23.7</b>	<b>28.2</b>	<b>△ 4.5</b>	<b>65.4</b>	<b>61.2</b>	<b>4.2</b>	<b>19.8</b>	<b>10.7</b>	<b>9.1</b>
高等学校	平成30年	41.4	45.4	△ 4.0	70.3	67.2	3.1	8.7	9.9	△ 1.2
	令和元年	39.5	43.7	△ 4.2	83.0	67.6	15.4	11.9	9.9	2.0
	2年	38.7	41.7	△ 3.0	X	63.2	…	3.4	6.9	△ 3.5
	3年	34.5	39.8	△ 5.3	X	70.8	…	X	8.8	…
	4年	<b>31.5</b>	<b>38.3</b>	<b>△ 6.8</b>	<b>X</b>	<b>71.6</b>	…	<b>4.7</b>	<b>8.5</b>	<b>△ 3.8</b>

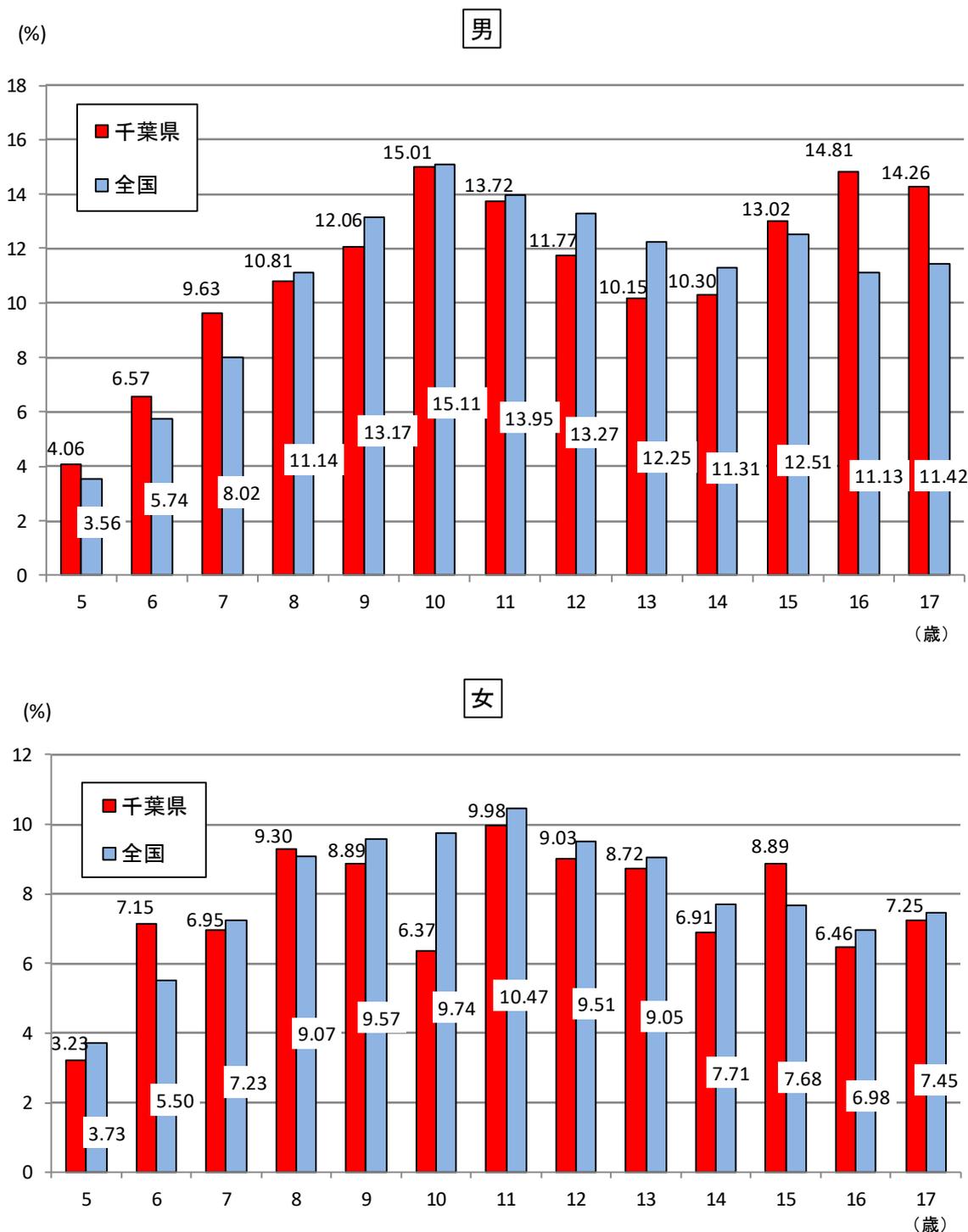
区分		ぜん息			心電図異常			蛋白検出の者		
		千葉県⑦	全国⑧	差⑦-⑧	千葉県⑨	全国⑩	差⑨-⑩	千葉県⑪	全国⑫	差⑪-⑫
幼稚園	平成30年	4.2	1.6	2.6	…	…	…	0.4	1.0	△ 0.6
	令和元年	3.0	1.8	1.2	…	…	…	0.2	1.0	△ 0.8
	2年	1.8	1.6	0.2	…	…	…	0.7	1.0	△ 0.3
	3年	4.4	1.5	2.9	…	…	…	0.7	0.7	0.0
	4年	<b>1.9</b>	<b>1.1</b>	<b>0.8</b>	…	…	…	<b>0.6</b>	<b>0.9</b>	<b>△ 0.3</b>
小学校	平成30年	5.7	3.5	2.2	1.1	2.4	△ 1.3	0.7	0.8	△ 0.1
	令和元年	5.2	3.4	1.8	1.3	2.4	△ 1.1	0.7	1.0	△ 0.3
	2年	5.2	3.3	1.9	1.1	2.5	△ 1.4	0.5	0.9	△ 0.4
	3年	5.5	3.3	2.2	1.6	2.5	△ 0.9	0.8	0.9	△ 0.1
	4年	<b>4.7</b>	<b>2.9</b>	<b>1.8</b>	<b>1.2</b>	<b>2.6</b>	<b>△ 1.4</b>	<b>0.6</b>	<b>1.0</b>	<b>△ 0.4</b>
中学校	平成30年	2.9	2.7	0.2	1.6	3.3	△ 1.7	2.0	2.9	△ 0.9
	令和元年	3.8	2.6	1.2	1.5	3.3	△ 1.8	1.9	3.4	△ 1.5
	2年	4.1	2.6	1.5	2.2	3.3	△ 1.1	2.7	3.3	△ 0.6
	3年	3.1	2.3	0.8	1.4	3.1	△ 1.7	2.0	2.8	△ 0.8
	4年	<b>3.7</b>	<b>2.2</b>	<b>1.5</b>	<b>1.4</b>	<b>3.2</b>	<b>△ 1.8</b>	<b>1.5</b>	<b>2.9</b>	<b>△ 1.4</b>
高等学校	平成30年	1.1	1.8	△ 0.7	1.8	3.3	△ 1.5	2.2	2.9	△ 0.7
	令和元年	2.0	1.8	0.2	2.1	3.3	△ 1.2	1.8	3.4	△ 1.6
	2年	2.3	1.8	0.5	2.3	3.3	△ 1.0	2.4	3.2	△ 0.8
	3年	2.4	1.7	0.7	1.5	3.2	△ 1.7	1.3	2.8	△ 1.5
	4年	<b>2.7</b>	<b>1.7</b>	<b>1.0</b>	<b>2.3</b>	<b>3.0</b>	<b>△ 0.7</b>	<b>2.9</b>	<b>2.8</b>	<b>0.1</b>

(注)心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。

### 3 肥満傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率について、全国値との比較をみると、男子は、5～7、15～17歳で上回ったが、他の年齢では下回った。女子は、6、8、15歳で上回ったが、他の年齢では下回った。(図2)

図2 肥満傾向児の出現率の全国値との比較



(注) 1 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

2 肥満傾向児の算出については、平成18年度から現行の方法に変更されている。